

令和4年8月26日（金）に町内会役員を対象とした「町内会活性化講座（基礎編）」を、宮城野区の会場で開催しました。講座には27名の方にご参加いただき、「これからの地域コミュニティ運営～町内会・自治会運営のヒント～」について講義を聴いたのち、グループに分かれてワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和4年8月26日（金）14:00～16:30

場所：宮城野区中央市民センター第3会議室

参加者：27名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design代表取締役 酒本宏氏から、町内会の現状や必要性、町内会が抱える課題、課題解決のための考え方やヒントなどの話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、5グループに分かれ、グループごとに「コミュニティのニーズ」と「Withコロナに向けて求められる町内会の活動や取り組みのアイデア」を出し合いました。最後に、グループで出されたアイデアなどをそれぞれ発表し、全体で共有しました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

● ニーズの高い活動

- 全ての活動で、各グループのニーズの高さは意見が分かれた
- その中でも、ごみ集積所の管理、花壇の整備、などの美化活動はニーズが高い活動である

● ニーズの低い活動

- 旅行や地域食堂は、全てのグループでニーズが低い活動である
- 情報発信や町内会のデジタル化のニーズは、グループごとに意見が分かれた

● 今後の町内会活動に向けて

若い世代に向けたイベント・サロンの開催

- 若い世代や親子が来たいと思うイベントを実施する
- スポーツを絡めたグループをつくる
- 町内会を楽しく知ってもらおうツアーを開催する
- 若い世代が参加したくなるサロンを開催する

若い世代の力を借りる

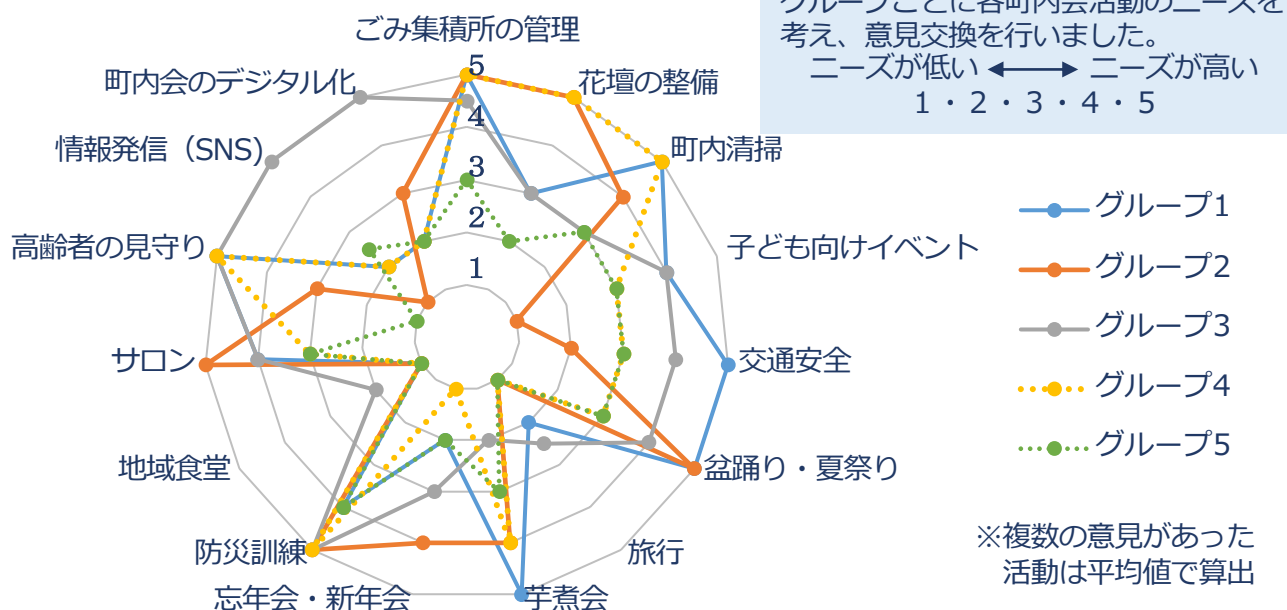
- 役員の見習いとして若い人に参加してもらおう
- 若い世代にはSNSを活用した回覧板を回し、町内会活動を知ってもらう



グループごとの意見・アイデア

ごみ集積所の管理や盆踊り・夏祭り、防災訓練は全体的にニーズが高い活動となっています。一方、地域食堂や旅行はニーズの低い活動であり、情報発信やデジタル化はグループによって意見が分かれました。具体的な取り組みのアイデアでは、若い世代に町内会に興味を持ってもらうサロンの開催やデジタルクーポンの配布などの意見が挙げられました。

コミュニティの各活動のニーズについて



【各活動のニーズ】

グループ1

- 子ども向けイベントは子どものニーズが大きいと思う
- デジタル化は若い世代にはいいが、高齢者には難しい

【アイデア】

- 役員見習いのようにして若い人を入れる
- 若い人が参加できるように日曜日に役員会を行う

【各活動のニーズ】

グループ2

- ごみ集積所の管理は住民全員のニーズがある
- 盆踊り・夏祭りはコロナ禍で実施できていないが大切な活動である

【アイデア】

- 役員にスマホ・LINEの講習会を行う
- 若い人たちも参加したくなるサロン内容にする

【各活動のニーズ】

グループ3

- 若い世代には情報発信やデジタル化のニーズがあると思う

【アイデア】

- 町内会を知ってもらうツアーを行う
- 興味のある情報を発信する
- 若い世代にはSNSで回覧板を回す

【各活動のニーズ】

グループ4

- 町内清掃などはニーズが高く、高齢者の見守り、防災訓練もニーズが高いと感じる
- 忘年会・新年会や旅行はニーズが少ない

【アイデア】

- スポーツを絡めたグループをつくる
- 若い人を1人でも見つけて協力してもらう

【各活動のニーズ】

- ごみ集積所の管理はマンションか戸建てかでニーズが変わってくる
- LINEの活用は有用だと思う

【アイデア】

- 若い世代や親子が来るイベントを実施する
- 商店街と連携し、デジタルクーポンなど配布する

グループ5